

各関係機関 御中

石川県農林総合研究センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察情報について

令和6年度病害虫発生予察特殊報第1号を下記のとおり送付します。

連絡先	石川県農林総合研究センター 農業試験場 総合研究部 病害虫防除室 電話 076-257-6972 (直通) FAX 076-257-9140 E-mail kisk0301@pref.ishikawa.lg.jp
-----	--

病害虫発生予察特殊報第1号

ミナミアオカメムシの発生確認

1 病害虫名 ミナミアオカメムシ

Nezara viridula (Linnaeus)

2 発生植物 ダイズ

3 発生経過

令和6年10月22日に、県内ダイズ圃場に寄生するカメムシ幼虫群を採取した。当研究センターで羽化させた後、名古屋植物防疫所伏木富山支所小松空港出張所に同定を依頼し、令和6年12月2日に本県では未確認のミナミアオカメムシであることが確認された。

4 国内での発生状況

本種は、熱帯から温帯地方南部に広く分布している。国内では1990年代まで鹿児島県、宮崎県、高知県、和歌山県などごく一部に限定されていたが、2000年代に入り、分布域が拡大し、2010年に千葉県での発生が確認されて以降、2015年に神奈川県、2016年に東京都、2020年に茨城県、埼玉県、2021年に栃木県、2023年に群馬県で確認されている。

5 特徴

- (1) 成虫の体長は12～16mm、体色はツヤのない緑色(写真1)で、アオクサカメムシとよく似ているが、触角第3～5節の先半分が赤褐色(アオクサカメムシは黒色(写真2))であることで識別できる。アオクサカメムシとミナミアオカメムシの幼虫での識別は難しい。
- (2) 同様に類似カメムシとしてツヤアオカメムシがいる。ツヤアオカメムシはツヤ

のある緑色で、ミナミアオカメムシとは小楯板上端に3つの白い斑点がない点（写真3）で識別できる。

- (3) 本種は国内において、春から秋までに年3～4回世代交代するとされる。スギなどの常緑樹で越冬した成虫は、春先にオオムギ、ナタネの上で増殖し、その後の世代が水稻やダイズ、野菜類に飛来する。なお、最寒月の平均気温が5℃以下の地域では越冬できないとされている。
- (4) 他県では、水稻・大豆・インゲンマメ・ジャガイモ・トウモロコシ・オクラ・ナス・ブロッコリー・キャベツ等での加害が確認されている。

6 防除対策

水稻、ダイズ等の穀類・豆類・野菜等で被害が懸念される。発生が見られたら、各作物のカメムシ類に登録のある薬剤を使用し防除する。



写真1 ミナミアオカメムシ成虫



写真2 アオクサカメムシ触角
触角第3～5節の先端部分が黒色



写真3 ツヤアオカメムシ小楯板
白い斑点がない